事務事業名	文化財調査事業								
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀				

	1-101 1- 1/C co 10																
(1)	事業開始年度	昭和49年度	: •		改正	4.1											
(2)	直近の改正	なし			内容	なし	•										
(3)	根拠法令等	文化財保護沒	法、大阪	府文化	財保護	条例	」、吹田市文化	財保護	条例	ā]							
		□ 全部		一部	(上乗せ	、横	### は 横出し等あり)										
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	:場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 C	04 個	性がひ	かる学で	ゾとフ	└ 文化創造のまた	ちづくり			節	04		;	細節	30)
					X	分	□ 内部管理	里		建設	 :事業	☑ そのイ	也	<u> </u>	<u>:</u>		
		対象 (誰を、何を)			範圍	西田等 文化財											
(6)	目 的	目標(どういう状態)	こしたいの	つか)	埋慮	 歳文化財、有形文化財等市内各種文化財の調査を行う。											
		結果 (どのような効果が得られるのか) 市内					文化財を把握し	ノ、保存	、活	·用を図	図る 。						
(7)	事業概要 埋蔵文化財の発掘調査、報告書等作成のための内業整理。有形文化財等市内に所在する文化財の現況や実態調査等に学術的な評値を把握し、あわせて活用等の検討を行う。																
(8)	予算コード	会計	01	款	1	0	項	05		<u> </u>	08	大事業	02	中事業	01	小事業	01
			項			平成27 (2015 ²					平成2 (2016	8年度 年度)		平成29 (2017			
					予算(千円)			 決算(千円)	予算(千円)		決算見込(千円)		予算(千円)			
		事業費(A)						9,358			8,782		12,119		11,375		11,865
		1.44.弗		職員数 人		人	. 1.3		1.30			1.90		1.90		1.90	
		人件費 総額(B)			千	·円	1	10,858			10,451		15,523		15,010		15,299
			事業費)	20,216			19,233				27,642		26,385		27,164
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財				515 500				516		2,040		1,873		1,912
	7,1,4,3,-0 I 3 H.	 		国						500		2,025		1,860		1,900	
		訳		府 の他			15				0 16					0 12	
			ーー <u>し</u> 市負担				-	19,701			18,717		25,602		24,512		25,252
				 !方債				0			0		0		0		0
		内	そ	· の他				0			0		0		0		0
		□/\ ·	— f	般財源			1	19,701			18,717		25,602		24,512		25,252
		ļ	財源計(C+D)				20,216			19,233		27,642		26,385		27,164
		□直接	安実施							,							
	実施方法	☑ 委託	モ又は一	-部委訊	;		委託先	3				内文化財	研究団体				
(10)	(該当するもの					Ė	とな委託内容		文化	財等	の調査						
	は全部チェック)	┌╴┾╬┖	h 仝 . 쓴 ⁺	田全			态母生	1									
		□ 補助	』並 □ 貝1	<u>i </u>			交付先	3									
		□ その	□ その他				内容										

			指標項目		項目		27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
			埋蔵文化財発掘届出等及び試掘調査依頼 書の件数	目標値	(単位:件)		97.00	92.00	91.00	
		指標 内容		実績値	(単位:件)		91.00	78.00		
	1				達成度(%)		93.8	84.8		
		目標値		単位当た	総事業費(単位:千円))	211.35	344.85		
1		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円))	205.68	320.83		
活動指標			埋蔵文化財裏書発行件数	目標値	(単位:件)		999.00	953.00	992.00	
標		指標 内容		実績値	(単位:件)		1,012.00	948.00		
	2				達成度(%)		101.3	99.5		
		目標値		単位当た	総事業費(単位:千円))	19.00	28.37		
		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円))	18.50	26.40		
			開発工事等に伴う埋蔵文化財調査・立会及 び文化財調査件数	目標値	(単位:件)		124.00	134.00	148.00	
		指標 内容		実績値	(単位:件)		167.00	169.00		
	1				達成度(%)		134.7	126.1		
		目標値の装質		単位当た	総事業費(単位:千円))	115.17	159.16		
2 		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円))	112.08	148.08		
成果指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円))	0.00	0.00		
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円))	0.00	0.00		
_		活動								
の3 が _〜 困ち	1	内容				目標				
困指難標なで										
な 場 っ す	2	成果 内容				達成 状況				
			│ 今後の方向性 			_				
			(実施計画)	□ 継続					終期の設定	
			文化財を調査し、保護 ⁻ 化財の保存や保護意識							
		_								
(4)総 [·] 	合評		評価の説明							

所属名	文化財保護課				
事務事業番号	972	事業名	文化財調査事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性	40	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	·i	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i	
(0)	有効性		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	(20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	.i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	i	
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
				:	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
				<u>i</u>	
 	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	16		<u> </u>	
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	<u> </u>	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
				<u>:</u>	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
				<u>:</u>	
	公平性		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4)	(20点)	16		<u>.i</u>	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	<u> </u>	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
				<u>.i</u>	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。	<u>:</u>	
	, /117 /		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u>:</u>	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 「点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では	ま表れない事項(必要に	応じて記載)	-	
調査は開発行為に伴う緊急調査とな	なるため、数値目標の設定	は困難である。		
3 事務事業の現状分析				
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 ^図 としての取組	□ 部	Bとして重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 10 5 0 効率性	
で (3)現状分析 査 を 者	の他の各種文化財について 化財の所在状況や実態を は所有者等の協力が不可 進めることによって、文化則	ては開発等によってを把握するための調査「欠であるが、文化財財に対する理解を高なるの調査活動を通じて	失われてしまうことを避けるた を行っており、これを積極的 に対する理解は高いとはいえ か、さらに調査を進めていくこ	美量全体の把握が困難である。 とめに、その保護を目的として に進めていく。また、文化財調 えず、今後文化財保護の啓発 とができると考えられる。所有 等で報告することにより、広く市
4 その他(国・府の動向など、当	i該事業に関係する特記]事項)		

事業番号 00973

事務事業名	文化財公開・啓発事業								
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀				

	丁 勿于未以他	<i>n</i> 4															
(1)	事業開始年度	昭和59年度	:		改正	なし											
(2)	直近の改正	なし			内容	なし	•										
(3)	根拠法令等	文化財保護沒	法、大阪	京府文化	:財保護	条例	」、吹田市文	化財保	護条係	列							
		☑ 全部		一部	(上乗せ	大横	出し等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	-場合は	くの説	.明			•								
(5)	総合計画の体系	章 0	04 個	性がひ	かる学で	びとな	文化創造の	まちづく	IJ		節		04	ń	細節	30	
		<u> </u>			区	分	□内部	 管理		建設	———— と事業	☑ その他	 <u></u>		:		
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	史跡、文化	上財等									
(6)	目 的	目標 (どういう状態にしたいのか) 文化					 上財を整備・保存するとともに文化財説明板整備等により文化財を身近に感じるための啓発事業の実施。										
		結果 (どのような効果が得られるのか) 文化					保護への理	解を得る	, 5.								
(7)	事業概要 	文化財調査(管理する史)	亦等の領 	雪理に努	子め、文· 	化財	の保存・活 	用・保護	等の ^を	啓発を 	図り、文化	:財保護行政 	女の理解を	を得る。 		-	
(8)	予算コード	会計	01	款	1	10	項	05		目	08	大事業	02	中事業	02	小事業	01
			項	目					.27年 5年度					8年度 年度)		平成29 (2017年	
					予算(千円)		決算	(千円)	予算(-	<u> </u>	決算見込	(千円)	 予算(1	 f円)		
		事業費(A)				2,222			2		1,880		2,581		2,451		2,584
		人件費 職員数 総額 (B)		战員数		人	0.50		0	0.50			0.50		0.50		0.50
				Ŧ	円		4,17	6		4,020		4,085		3,950		4,026	
			事業費		5)		6,398				5,900	•		·		•	
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財				37				28	40			64		
		内		国 —— 府					0	0		0			0		0
		訳 · · ·		<u></u> の他				3	_		28		40		64		40
			市負担					6,36	1		5,872		6,626		6,337		6,570
			地	也方債				(0		0		0		0		0
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	そ	の他					0		0		0		0		0
		<u> </u>		般財源				6,36			5,872		6,626		6,337		6,570
			財源計((C+D)				6,39	8		5,900		6,666		6,401		6,610
		☑ 直接	を 美他					1	<u> </u>								
							委託先	2	_								
		│ □ 委託 	モ又は一	-部委訊	ŧ		24	3									
(10)	実施方法					É	とな委託内										
(10)	(該当するもの は全部チェック)				-			1)								
	1の正日17 1 / / /	□ 補助	力金•負	担金			交付先	2									
								3)								
		□ その)他				内容										

			指標項目		項目			7年度 (年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			啓発等冊子作成数	目標値	(単	位:件)		2.00	2.00	2.00
		指標 内容		実績値	(単	位:件)		2.00	2.00	
	1				達成度(%)		100.0 100.0		
		目標値	過去3年間実績数の平均値	単位当た	総事業費	(単位:千円)		2,950.00	3,268.00	
1 		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)	2,936	2,936.00	3,236.00	
活動指標			説明板の設置件数(補修含む。説明板設置 は隔年の予算措置のため、平成27年度は	目標値	(単	位:件)	1.00		1.00	1.00
標		指標 内容	予算措置されていない。)	実績値	(単	位:件)		0.00	1.00	
	2				達成度(%)		0.0	100.0	
		目標値	過去3年間実績数の平均値	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	6,536.00	
		の積算 方法		りコスト	- 一般財源(単位:千円			0.00	6,472.00	
			史跡等文化財管理件数	目標値	(単	位:件)		6.00	6.00	6.00
		指標 内容		実績値	(単	位:件)		6.00	6.00	
	1				達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の装質		過去3年間実績数の平均値	単位当た	総事業費	(単位:千円)		983.33	1,089.33	
2 		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		978.67	1,078.67	
成果指標				目標値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	<u>í</u>)	単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0		0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
		活動								
の 3 が〜 凩指	1	内容					目標			
困難ない		成果					達成			
な示っ	2	内容					状況			
		4	 今後の方向性 □ 拡充 □		Ē		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		————————————————————————————————————	——— 終期の設定
(4)総合評価			安跡の保存・整備、文化 ことができ、文化財の保 必要である。	上財説明	 坂等の設置				 別知し、文化財保	養への理解を得る

所属名	文化財保護課				
	973	事業名	文化財公開•啓発事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
H, 18		ит іши	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	— .i.e lei		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/iiX
			ウ/ロ 35) 日	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	 点
(2)	有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		<i></i>
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	.	<u></u>
					点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	E	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光はリコストは第五でする (5-5)	E	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		14	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 - 東帯手法の検討や専務改善に取り組んでいる(2点)		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 		—
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	18	b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
	(20/11)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 		_
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	14 v+ 		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	973				
2 各視点	なからの評価の点数で	だは表れない事項(必要に	応じて記載				
3 事務事	事業の現状分析						
(1)本事業	美の位置付け	主要な政策課題		部	として重点的な取組		その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平		妥当性 20 10 5 0 有効性 効率性		
(3)現状分	↑析	文化財の説明板の設置、5 化財を通して地域への愛着・ を持つ。	史跡等文化財(や地域文化を	の適正 <i>た</i> うむこと	な管理を行うことにより、市民 が期待でき、文化財保護の	その文化財)意識を高&	への関心が増し、文 かる上で大きな意味
4 子の什	h(国・存の動向など	当該事業に関係する特証	P事項)				
	J (日 /1) マノ 50 円 (みしく		」				

事務事業名			文化財保存·活用事業		
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

	于切于木V/W	人女															
(1)	事業開始年度	昭和60年	度		改正	なし											
(2)	直近の改正	なし			内容	内容 ⁶⁰⁰ 											
(3)	根拠法令等	文化財保	文化財保護法、大阪府文化財保護条例、吹田市文化財保護条例														
		□ 全部		□ — ;	鄒(上乗も	₹、横	出し等あり	はし等あり) 図 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分		チェック	した場合	はその説	明											
(5)	総合計画の体系	章	04	個性が	ひかる学	びとな	文化創造の	まちづく	くり		節		04	i	細節	30	
		=		×	经分	□内部	管理		建設	事業	☑ そのイ	也	,	<u> </u>			
(-)		対象 (誰を、何?	を)		範	囲等	等 有形文化財、民俗文化財等										
(6)	目的	目標(どういう状)	態にした	こいのか)								護をはかると活用をはな		理が必要な	場合など	文化財所有	者又は
		結果 (どのような	効果が行	得られるの	_{か)} 文化	じ財を	を保護し、後	後世に伝	えてし	ハくとと	もに文化則	オ保護へのヨ	理解を得	3 .			
(7)	7) 事業概要 文化財調査に基づき、市内の を図るため、指定・登録文化									(化財保護	審議会に認	8問し、指	定等を行う	。また、文	化財の保存	を活用	
(8)	H28事業別 予算コード	会計	(01	款	10	項	05		目	08	大事業	02	中事業	02	小事業	02
		項目				平成27年度 (2015年度)								8年度 年度)		平成29 [:] (2017年	
							予算(千円)			決算(千円)	予算(-	千円)	決算見込	(千円)	予算(千	千円)
				事業費(A)			3,534		34		2,386		6,194		5,956		6,067
		人件費	,	職員数		人		0.	70		0.70		0.80		0.80		0.80
		総額(B)				-円	5,84				5,628			<u> </u>			6,442
	市光 建 1.			業費(A+			9,381				8,014		12,730				12,509
(9)	事業費と 財源の内訳		特正	E財源(C)					0				0			0
		<u> </u>		国 府					0 0					0			0
		訳		 その他					0		0	-			0		0
		<u> </u>	市					9,3				12,730			12,276		12,509
		$\hat{\cdot}$		地方債					0		0		0		0		0
		内		その他					0		0		0		0		0
		\smile		一般財派				9,3			8,014		12,730		12,276		12,509
				:計(C+E)			9,3	81		8,014		12,730		12,276		12,509
			直接実施	他		T			<u> </u>								
							委託先										
		口	委託又に	は一部委	託		24,505		3								
(10)	実施方法					É	上な委託内	容									
(10)	(該ヨ9るもの						土な安託内容		- I	化时品	有者又は何	保護団体等					
	は全部チェック)	☑ 補助金・負担金					1) 又1		11 11 2 (10)						·		
		☑ ¾	補助金∙	•負担金			交付先	C	2		11 11 11 11 11						
		☑ ¾	甫助金▪	•負担金			交付先	C		[[11 11 201001						

			指標項目		項目			?7年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			文化財の指定・登録の件数(文化財の調査の進展により設定するため不定)	目標値	(単	4位:件)		2.00	2.00	1.00
		指標 内容		実績値	(単	4位:件)		1.00	0.00	
	1				達成度(%)		50.0	0.0	
(目標値	過去3年間実績数の平均値	単位当た	総事業費	(単位:千円)		8,014.00	0.00	
1) 五		の積算 方法		りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		8,014.00	0.00	
活動指標				目標値	<u>(</u>)	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
			補助金交付件数	目標値	(単	Ú位:件)		6.00	7.00	6.00
		指標 内容		実績値	(単	单位:件)		7.00	6.00	
	1				達成度(%)		116.7	85.7	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		1,144.86	2,082.00	
2 · 成		方法		りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		1,144.86	2,082.00	
成果指標				目標値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
の3 がシ	1	活動 内容					目標			
困難な場合	2	成果 内容					達成 状況			
	1	4	 今後の方向性 (実施計画) □ 拡充 □	☑ 継続	Č	□ 縮小	<u> </u>		廃止 □	終期の設定
(4)総·	合評		文化財を指定すること、伝わる民俗芸能等の伝 今後も事業の継続が必評価の説明	承活動を	奨励する					

所属名	文化財保護課				
事務事業番号	974	事業名	文化財保存•活用事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性	4.0	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性	4.0	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
	効率性 (20点)	1.4	a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(0)			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3)		14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		18	②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(-)	持続可	4.0	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	•••••••	•
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	974

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

文化財の補助金は文化財の保存のため現状変更という私有財産権の制限を課すことに対する補償措置とされている。そのため案件に対して 精査、金額の決定を行うものであり、件数による数値設定はなじまない。また、補助は、国・府・市の指定や登録文化財に対するもので未指定の 文化財に対する制度ではない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 ^図 としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 10 5 0 公平性	
(3)現状分析		、市民の文化財に対する理解を高めてし 調査活動を通じて、それらを展示公開やf 。	

4	その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)
<u> </u>	

尹未留写 009/3	事業番号	00975
--------------	------	-------

事務事業名	吹田学事始め事業							
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀			

ı	于加于木VM	N 女																	
(1)	事業開始年度	平成13年度			改正	なし													
(2)	直近の改正	なし			内容	<i>'</i> &C	•												
(3)	根拠法令等	文化財保護	法、大阪	反府文化	財保護	条例	」、吹田市文	て化財保	:護:	条例									
		☑ 全部		□一部	(上乗せ	大横	出し等あり)		□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	と場合は	その説	明													
(5)	総合計画の体系	章 0	04 個	性がひ	かる学で	びとさ	と 化創造の	まちづく	IJ		節			04		細節		30	
		<u> </u>			×	分	□内部	 管理		□建	 設事業	√ 2	その	也			_		
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	地域に身	近にある	文	化財									
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたい(のか)	調査	査を行ってその成果を冊子にまとめる。 ************************************													
		結果 (どのような効!	甲が得に	カスのか	、 身边	丘な文	て化財への	関心が均	増し	、文化	すを通して	地域への	の愛	着や地域	文化を育る	む効果がな	ある。		
(7)	山20東 娄 切						I i		 子								T		
(8)	予算コード	会計	01	款	1	0	項	05		目	08	大事	業	02	中事業	02	小事業	03	3
			項					年度 丰度)					8年度 年度)			29年度 7年度)	•		
				予算(千円)				決算	予	予算(千円)		決算見込(千円)		予算(千円)					
		事業費(A)			- 1	1			9			0		110		110			20
		人件費	職員数			人 —								0.20		0.20			0.20
		413		※額 (B) 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		-円					0	1,634				+		,611	
	事業費と		等	②(A+B)		1,690				0							,631 0	
(9)	財源の内訳		1寸足別	<u>源(U)</u> 国			0				0					<u>- </u>		0	
		内 訳		_ 府					0			0							0
		·	7	その他					0			0		0		(0
			市負担	担(D)				1,69	0			0		1,744		1,690)	1,	,631
		<u></u>		也方債					0			0		0		()		0
		訳		その他					0			0		0)		0
		<u> </u>		<u>般財源</u> (C+D)				1,69 1,69	_			0		1,744 1,744		1,690 1,690	+		,631 ,631
				(СТД)				1,09	,0			<u> </u>		1,744		1,030	7		,031
			×>1,0					1		 大学等 []]	 專門機関、	市内文化	化財	———— 研究団体					
		☑ 委託	チャルー	_如禾包	£.		委託先	2)										
	実施方法	区 安市		마交미	L			3											
(10)						É	な委託内			な文化則	才等の調査	<u> </u>							
	(該当するもの は全部チェック)	1.P.=	⊥				,, ,,,,,,,,,	1											
		□補助	』金•負	担金			交付先	2											
)他					3	Л <u> </u>										
	1					1		I											

2 評·	<u> </u>	指標等	指標項目		項目			7年度	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			身近な文化財調査実施件数	目標値	(単作	立:件)		1.00	2.00	3.00
		指標 内容		実績値	(単作	立:件)		6.00	1.00	
	1				達成度(%)	600.0		50.0	
		目標値	過去3年間実績数の平均値	単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00		1,744.00	
1 		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	1,744.00	
活動指標				目標値	(単	.位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	実績値 (単位:)			0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
			身近な文化財調査及び報告書作成	注件数 目標值	(単作	立:件)		1.00	1.00	1.00
		指標 内容		実績値	(単作	立:件)		1.00	1.00	
	1				達成度(%)		100.0	100.0	
		過去3年間実績数の平均値 目標値 のま第			総事業費(単位:千円)		0.00	1,744.00	
2 		の積算 方法		単位当たりコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	1,744.00	
成果指標				目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単	位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た			0.00		0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
		江丰								•
の 3 が〜	1	活動 内容					目標			
困指 難標										
な場合	2	成果 内容					達成 状況			
合 9		,,,,,					<i>D</i> (<i>D</i>)			
		4	う後の方向性 (実施計画) □ 拡充	☑ 継糸	売	□ 縮小	•		廃止 □	終期の設定
(4)総·	1)総合評価		市民の身近にあ							地域の歴史に関心 と考えられるので

所属名	文化財保護課				
事務事業番号	975	事業名	吹田学事始め事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
1)	妥当性	16	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
1)	(20点)	10	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	-1	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	·i	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	-	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
0)	有効性	10	b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
2)	(20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	-1	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	•	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	-i	
2)	効率性		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
3)	(20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	.i	
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	. .	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。	·i	
4)	公平性	4.0	b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	·i	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	·i·······	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	•	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	.i	
_,	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	·i	
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
				.i	
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	:	

所属名	文化財保護課	事務事業番号	975
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

報告書は指定や登録の基礎資料となり、これにより国の登録文化財になったものもある。成果は冊子として市民にも公開されており、歴史学習の資料となっている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 10 5 0 公平性	
(3)現状分析	地域の身近にある文化財を調査し、の文化財保護への理解を得やすい。	、その成果をまとめた冊子を作成するとさ	て化財等への理解を深め、市内

4	4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事業番号 00976

事務事業名		旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業									
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀						

	3 353 3 514 4 10															
(1)	事業開始年度	平成17年度	Ę		改正	<i>+</i> ~1										
(2)	直近の改正	なし			内容	なし	•									
(3)	根拠法令等	文化財保護	法、吹	て田市文化	比財保護	条例	」、同住宅条例									
		□ 全部		☑ 一部	(上乗せ	上、横	出し等あり)			なし(国・府制	削度もしくは	法令等で	市が実施す	⁻ る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチュ	ニックし	た場合は	はその説	.明	文化財の活用に	かかる公	〉開事	፤業の実施						
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひ	かる学で	びとな	・ 文化創造のまち	づくり		節		04		細節	30)
		<u> </u>	<u> </u>		×	分	□ 内部管理	! !		建設事業	☑ その [•]	也	 			
		対象 (誰を、何を)	1		範	范囲等 旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)										
(6)	目 的	目標 (どういう状態	にしたい	いのか)	調査	旨定重要文化財を良好に管理し、文化財を将来の市民に伝える。旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)の 査・研究や建造物の特質を活かした積極的な活用を図り、文化財保護の意識を養い、文化の創造、交流を 進する										
		結果 (どのような効	果が得	鼻られるの か	国打	旨定重	を要文化財であ ちづくりに寄与		尾家	マ住宅を保存し	、その価値	を活かした	た活用を図	ることで、	新たな文化	の創造、
(7)	事業概要	平成17年1 礎となる場と					歷史的·文化的道	遺構の [,]	保存	と文化財として	ての価値や「	未わいを生	きかして、坩	地域文化σ	新たな文化	と創造の
(8)	H28事業別 予算コード	会計	0	1 款	୯ 1	10	項 0)5	E	08	大事業	02	中事業	03	小事業	01
			IJ	頁目				平成27 (2015年				平成2 (2016	8年度 年度)		平成29 (2017 ²	
						予算(千円)				快算(千円)	予算(千円)	決算見辺	上(千円)	予算(-	千円)
				[業費(A)		22,210			20,791		34,133		32,098			
		人件費 人件費		職員数						1.00		1.40		1.40		1.40
			総額(B)			円			8,352 8,039 0,562 28,830 143 132			11,438		11,060		11,273
	事業費と	र्गिन		:費(A+E 財源(C)	3)	30							43,158 7,078		+	
(9)	財源の内訳		1寸 Æ							(6,879		6,879		7,459 7,371
		内 訳		<u></u> 府				0		(0			0,879		0
				その他				143		132				199		88
			市負	負担(D)			30	0,419		28,698	3	38,486		36,080	36,17	
		<u></u>		地方債				0		(0			0		0
		訳		その他				143		(206		0		0
		\smile		一般財源 				0,276		28,698		38,280		36,080		36,177
		□直排		†(C+D))		30	0,562		28,830	<u>/ </u>	45,571		43,158		43,636
			У Л	<u>.</u>				1 7	ドラン		 州俱楽部、科					
	r+1-1-1-1-1-1	☑ 委割	託又は	は一部委訂	ŧ		委託先	3								
(10)	実施方法					É	とな委託内容	イベン	トや	茶会開催等						
(10)	(該当するもの は全部チェック)							1								
		□補助	助金▪∶	負担金			交付先	2								
								3								
		□ その	の他				内容									

2 評	Щ О Д	1指標等	ɪ 指標項目			項目	平成2 (2015		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			ボランティア参加者	延べ人数	目標値	(単位:人)		2,594.00	2,258.00	1,895.00
		指標 内容			実績値	(単位:人)		1,925.00	1,529.00	
	1	. , 1				達成度(%)		74.2	67.7	
		目標値	過去3年間の平均	参加者数から算出	単位当た	総事業費(単位:千円)		14.98	28.47	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		14.91	23.84	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			年間入館者数		目標値	(単位:人)		8,252.00	8,041.00	7,247.00
		指標 内容			実績値	(単位:人)		7,380.00	6,117.00	
	1					達成度(%)		89.4	76.1	
		目標値 の積算	過去3年間の平均 	入館者数から算出	単位当た	総事業費(単位:千円)		3.91	7.12	
2 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		3.89	5.96	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困 難標	1	活動 内容					目標			
₩ な場合 は は	2	成果 内容					達成 状況			
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小				終期の設定
(4)総	合評					り場とすることを今後も 地域に根付いていた文				

所属名	文化財保護課				
事務事業番号	976	事業名	旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> пін</u>	100 DE NIC	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
				5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		<i></i>
	u. la		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u></u>	
	(20/11)		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u></u>	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>)W
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u></u>	
	*************************************		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	.i	
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	 点
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	<u> </u>	
			せいしてに記めてきる具体的な成果をエリーでいる。が。 	3	 点
			1単位当たりコストは適正ですか。	<u> </u>	洲
			・	5	 点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	<u> </u>	
	11 -4-14			5	 点
(3)	効率性 (20点)	16	3. 近尾なり一と入徒供のための取組を具体的に取り組んといる。(3点) 3. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	<u> </u>	
			O 他の事業・取組と建携して、事業の効率化を図っている。	3	 点
			B. 他の事業・政権との建筑を侵引をしている。(3点) ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	3	
			世	3	 点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		<i>m</i>
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	 点
			②サービスの水準は適正ですか。	<u> </u>	
	— 14		と	3	 点
(4)	公平性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	3	
				5	 点
			4 公平性を確保するための取組みをしていますか。	3	
			・	5	 点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	<i>m</i>
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	<u> </u>	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	 点
(5)	能性	18	a. 事業負や同負担はほどんと増入しない見込みである。(5点) ③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	J	, AR
	(20点)		⑤	3	 点
			B. 足州的に比較・万術してあり、事業員の水準はやや高い。(3点) ④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		- AT
			4) 付未的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	F	
				υ	点
	i点合計 点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 文化財保護課	事務事業番号 976			
2 各視点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応じて	て記載)	•	
3 事務事業の現状分析				
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 ^図 としての取組	□ 部	として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能		妥当性 20 15 10 5 0 効率性	
(3)現状分析	建造物を保存し、公開、活用する場発を促している。こうした歴史的価 ていくことが重要であり、世代を超いくと思われる。	値を有する施設	は、現状を維持しながら、訓	間査や活用を進め後世に伝え
4 その他(国・府の動向かど	当該事業に関係する特記事項	·)		
	コの予不に対応する行品学성	. /		

事務事業名		旧中西家住	主宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活	用事業	
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

	中加中未 UNW	lw女																
(1)	事業開始年度	平成19年度	隻		公 正	なし												
(2)	直近の改正	なし			内容	<i>,</i> & C	,											
(3)	根拠法令等	文化財保護	法、吹田	市文化原	材保護	R.護条例、同住宅条												
		□ 全部 ☑ 一部(上乗せ、横出し等あり					出し等あり)		ロなし	(国•府制	度もしくは	去令等で	市が実施す	る義務あ	9)		
(4)	市単独事業区分		一部にチェックした場合はそ)説明 文化財の活用にかかる公開事業の実施											
(5)	総合計画の体系	章	04 個	性がひか	いる学で	びとさ	文化創造の	まちづく	(り		節		04		細節	30		
					区	分	□内部	管理	[□ 建設	事業	☑ その1	也	•		<u> </u>		
(0)		対象(誰を、何を)	(誰を 何を)				旧中西家伯	住宅(吹	田吉	 吉志部文	人墨客迎	賓館)						
(6)	目的	目標 (どういう状態	ミにしたいの	りか)								管理する。 文化の保存				さしての活り	用を図	
		結果 (どのような効	カ果が得ら	れるのか)			録文化財で させ、新たな						家住宅を ^ん	保存し、活	用すること	で地域の伝	統文化	
(7)	争未似安	旧中西家住宅(吹田吉志部文人り、迎賓館としても使用する。				客迎	賓館)の保	:存•公 開	見、 訓	周査・研究	₹を行い、±	地域文化の	新たな文	化創造の値	楚となる場	として保存が	舌用を図	
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	1	10	項	05		目	08	大事業	02	中事業	03	小事業	02	
		項目								年度 F度)				8年度 年度)		平成29 (2017年		
								千円)		 決算((千円)	予算(-	千円)	決算見記	실(千円)	予算(日	 f円)	
		事業費(A)						13,05	53		12,697		13,594		13,128		13,515	
		人件費 人件費	墹	貴数		人		0.7	70		0.70		0.80		0.80		0.80	
				額 (B)		円		5,84			5,628		6,536		6,320		6,442	
	+ * # 1	新	総事業費				<u> </u>	18,90			18,325		20,130		-	19,448 19,957		
(9)	事業費と 財源の内訳	l —	特定財						0		34		34		27		27 0	
		<u></u>		国 ——— 府					0		0		0		0		0	
		訳		<u>…</u> の他					34		34		34		27		27	
			市負担	(D)				18,86	66		18,291		20,096		19,421		19,930	
			地	2方債					0		0		0		0		0	
		内 訳	そ	の他				3	34		0		34		0		0	
				般財源				18,83			18,291		20,062		19,421		19,930	
			財源計(C+D)			<u> </u>	18,90	00		18,325		20,130		19,448		19,957	
			接実施			Т		1				+(株)大阪	 古					
							委託先	2		<u> </u>		- (1本) ノ 、 3	<u> </u>					
		☑萎	☑ 委託又は一部委託				24,127	3	_									
(10)	実施方法						<u> </u>	3)			③ 幾械警備業務▪消防設備点検業務等							
(10)	(該当するもの					=	とな委託内 ³			· · · · · · · · · · · · · ·	 •消防設備	点検業務等						
						=	とな委託内		械警	§備業務	•消防設備	点検業務等						
	は全部チェック)	□ 補	助金•負	 担金			主な委託内 交付先	容 機· ① ②	·械警		▪消防設備	点検業務等	手 ————————————————————————————————————					
		□ 補.	助金•負	——— 担金 ———		E		容 機: ①	·械警	*備業務***********************************************************	▪消防設備	点検業務等	手					

2 評	ЩО)指標等	指標項目	■		項目		平成2 (2015	7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			ボランティア参加	者延べ人数	目標値	(単	·位:人)		640.00	612.00	628.00
		指標 内容			実績値	(単	·位:人)		622.00	663.00	
	1					達成度(%)			97.2	108.	3
		目標値	過去3年間の参加	n者数から算出 	単位当た	総事業費	(単位:千円)		29.46	29.60	5
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		29.41	29.62	2
活動指標					目標値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	1)	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
			年間入館者数		目標値	(単	位:人)		1,963.00	1,752.00	1,699.00
		指標 内容			実績値	(単	·位:人)		1,586.00	1,850.00	
	1					達成度(%)		80.8	105.0	i /
		目標値 の積算	過去3年間の平均	り入館者数から算出	単位当た	総事業費	(単位:千円)		11.55	10.63	3
2 		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		11.53	10.6	
成果指標					目標値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た りコスト			0.00		0.00		
		方法					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の の が 困 形 間	1	活動内容						目標			
2 困難な場合	2	成果内容						達成 状況			
	•		- 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□ 縮小			廃止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	保存、調査を進めなが建造物の存在意							

所属名	文化財保護課				
	977	事業名	旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	•••••••••••	
(4)	妥当性	4.4	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	(20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	·i	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i	
(0)	有効性	4.0	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i	
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	.i	
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
				. <u>i</u>	
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	16			
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
				.i	
	公平性			3	点
(4)	(20点)	18			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
				<u>:</u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
				<u>:</u>	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。	<u></u>	
	, /111/		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 「点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 文化財保護課	事務事業番号	977			
2 各視点からの評価の	点数では表れない事項(必要に	応じて記載)	•		
3 事務事業の現状分析	<u>. </u>				
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	口 部。	として重点的な取組	□ その他	
(2)各視点からの評価結果			妥当性 20 15 10 5 0 効率性		
(3)現状分析	文化財としての保存・公開をに基づき運営を図っていく必また、建造物を保存し、公開保存啓発を促している。こうにに伝えていくことが重要であがっていくと思われる。	要がある。 、活用する場として提 した歴史的価値を有す	共することで、多くの人に文 る施設は、現状を維持しな	(化財を学ぶ機会を <i>!</i> がら、調査や活用を	ラえ、その 進め後世
4 その他(国・府の動向	など、当該事業に関係する特証	巴事項)			

事務事業名			博物館施設管理事業		
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

	于初于未UVW	<i>14</i>															
(1)	事業開始年度	平成4年度			改正	博物	物館協議会の	の委員の	の化	壬命の基準	準について	、文部科学	省令で定	」める基準を	を参酌して	、当該博物	ーーー 館を設
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	置す	「る地方公共	共団体0	り含	そ例で定 <i>め</i>	る必要が	あったため	0				
(3)	根拠法令等	博物館法(法	建28	35号)、吹	田市立	博物	宜条例										
		☑ 全部		□一部	(上乗せ	·、横	出し等あり)		ロなし	(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	- - る義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックし	た場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 0)4 1	固性がひ	かる学び	びとざ	文化創造の	まちづく	IJ		節		04		細節	30	
		<u> </u>			区	分	☑ 内部旬	 管理		□ 建設	事業	□ その	也	.		<u> </u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲	囲等	博物館施記	設及び劇	<u></u> 汝均	也の管理選	宣営						
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたい	いのか)	吹田	市立	」 立博物館の ¹	管理運'	営	 を行う。							
		結果 (どのような効!	果が得	られるのか	,	市上	立博物館の	管理運	営	を行う。							
(7)		吹田市立博物	物館 <i>の</i>)管理運営	営を行う	o	.								平度度度(2017年度) 字算見込(千円) 予算(千円) 92,593 2.00 15,800 3.00 108,393 8.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
	H28事業別 予算コード	会計	01	款	1	0	項	05		目	09	大事業	01	中事業	01	小事業	01
			項	i 目						7年度 年度)			平成2 (2016	8年度 年度)			
							予算(-	千円)		決算(千円)	予算(千円)	決算見過	└(千円)	予算(-	千円)
		事業費(A)				66,66		60		64,370		114,576		92,593		75,198	
		人件費		職員数 人		<u>ر</u>	2.0				2.00				2.00		1.80
	事業費と			総額(B) ————		·円		16,70								14,4	
(9) 事業費と 財源の内訳			費(A+B)			83,36	-		80,448		130,916				89,692	
	_	符正规	財源(C) ──── 国			91				94						87 0	
	内		<u></u> 府					0		0		0				0	
	訳 <u></u>		<u></u> その他				9)1						82		87	
	,	市負	担(D)				83,27	73		80,354		130,825		108,311		89,605	
			,	地方債					0		0		0		0		0
	内		その他					0		0		0				0	
		<u> </u>		-般財源				83,27			80,354		130,825				89,605
		□直接		(C+D)				83,36	94		80,448		130,916		108,393		89,692
			女天心	,				1)	 警備等実	 施業者						
	実施方法			±=			委託先	2					 施業者				
宝施方法	☑ 委託	t乂は	一部委託	5			3		清掃、ゴミ	収集等実	施業者						
(10)						È	とな委託内容	容警	備	、設備管理	里、清掃、3	空調機器管	理等				
(10)								1	-+								
		□補助	力金•負	負担金			交付先	2	-								
								3)								
		□ その)他				内容										

2 評		<u>指標等</u>	指標項目			項目			7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)				
			施設及び設備の老朽化等により理件数(修理実施により不良部分		目標値	(単	单位:円)	3,1	93,000.00	2,264,000.0	1,400,000.00				
		指標 内容	安心安全な資料保管、施設利用		実績値	(単	单位∶円)	2,1	15,280.00	2,264,000.0					
	1					達成度(%)			66.2	100.0					
		目標値	修理箇所を早期に発見により、事 努めるとともに経費の節減を図る		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.04	0.0	5				
1) エ		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.04	0.0	5				
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00				
標		指標 内容				(単位:)		0.00	0.00					
	2					達成度	(%)		0.0	0.0					
		目標値 の積算				総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00					
		方法				一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00					
			開館日数		目標値	(単	≦位∶日)		293.00	294.00	294.00				
		指標 内容				(単	≦位∶日)		292.00	294.00					
	1									達成度	(%)	99.7		100.0	
		目標値 の積算	開館日数の目標値は「吹田市立」施行規則」第3条基づく日数(開館	基づく日数(開館により入		総事業費	(単位:千円)		275.51	370.5	2				
2)成果指標		方法	館者の確保に務め、経費節減を	凶る。) 	りコスト	一般財源	(単位:千円)		275.18	370.24	1				
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00				
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00					
	2					達成度	(%)		0.0	0.0					
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00						
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00					
のが困難な場合(3)指標で示す	① ②	活動						目標							
		4	 		型 継続	Ē	□ 縮小	`		廃止 □	終期の設定				
(4)総	合評	(実施計画) 博物館には、指定文化 蔵庫・展示室内では温え れています。また、老朽 が動作しなくなった場合				定するなど でなく、雨	ご空調管理を 「漏りでも機器	実施して の故障 <i>0</i>	いますが、 D原因とな	、空調設備も著し る危険性をはら	い老朽化が見ら んでいます。機器				

所属名	文化財保護課				
事務事業番号	978	事業名	博物館施設管理事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	•••••	
(4)	妥当性	4.0	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	(20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	•••••	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	•••••	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性	10	b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	(20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(0)	(3) 効率性 (20点)		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可	10	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	978	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	いない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

5 争扬争未必统仇力机 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 10 5 有効性 公平性	
(3)現状分析	ては、故障の発生に止まらず、生産約順守により機器等の変更が必要となる。 裂や防水機能の低下により各所に雨 改修については、関係室課と協議した。	設備の著しい老朽化が見られます。特に 冬了等により部品供給が不能となったもの る事例も起こっています。また、建物につ 「漏りが発生するなど、修理箇所が増加す ながら迅速的・計画的に実施することによ な経費支出、安心安全な資料保管、施設	の、経年による機能低下や法令いても、壁面、屋上、床面の亀 する傾向にあります。修理及び らり、被害が拡大する前に、不

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成29年度の経済・財政一体改革の推進に向けた地方行財政改革の取組のトップランナー方式の導入推進事業のうち、図書館管理、博物館 管理、公民館管理、児童館管理の4事業の指定管理者制度導入が見送られた。

事業番号	00979
于 未由 7	00373

事務事業名			調査研究事業		
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本安秀

	1 100 1 00 10																
	事業開始年度	平成4年			改正	1 12 44	- 64 % c-	# 1- #5:55	+277		ᅕᆍᄆᄾᄼ	->					
(2)	直近の改正	平成26年			内容	博物	物館の登録	光に 指定	都巾	の教育	す安貝会な	い川わる					
(3)	根拠法令等	博物館法法律	⊉ (285	号)、吹	田市立	博物	館条例										
		☑ 全部		一部((上乗せ	·、横	出し等あり)		なし	(国∙府制	削度もしくは	法令等で	市が実施	する義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	:場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 04	4 個	性がひた	かる学で	バと対	と化創造の	まちづくり			節		04		細節	30)
		<u> </u>			区	分	□内部	 管理		建設	事業	☑ その	 他			:	
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	不特定多	数の市民	ı			1		ı			
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの)か)			└──── 歴史や自然 そ発見し、そ									、調査研究	 し、新た
		結果 (どのような効果	きが得られ	れるのか			ルた情報は の発見、見ī								して活用され	れることによ	 :り地域
(7)	事業概要	地域の考古・ て資料を収集 て自然・環境に 館報」などに している。	整理しに関する	ている。 る資料も	その成 市民と	果を 協働	特別展を記	主とした企 夏季展示	画展に反	や講	座・史跡ウ せている。	ォーク・体 また、展覧	験学習など 会図録や	で で で 変次刊行	音及活動に する「博物館	活用してい。 宿だより」・「	る。加え 博物館
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	1	0	項	05		目	09	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(8)		·	項目				-	平成2 (2015			:				:		
							予 算(·	千円)		決 算(千円)	予算(千円)	決算見	込(千円)	予算(-	 千円)
	H28事業別 予算コード		事業費	₹(A)			3,36 人 1.8				3,281		3,438		3,378		3,502
		人件費		員数	,	(1.80)	1.80		1.80		1.80
		NII K	総	額(B)	千	千円 1		15,034	1		14,471				·		14,494
(9) 事業費と 財源の内訳			(A+B))			18,397		17,752			17,996					
		持定財				0				0						0	
	内 ——		国			0											
	訳		府 ·の他		0												
			<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>					18,397			17,752			1			
				- <u>`</u> -`- !方債				0			0						0
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	そ	· の他				0			0		0		0		0
		∴ ————————————————————————————————————	— я́	投財源				18,397			17,752		18,144		17,598		17,996
		貝	才源計(C+D)				18,397			17,752		18,144		17,598		17,996
		☑ 直接	実施											0 0 0 0 0 0 17,598 17,996 0 0 17,598 17,996 17,598 17,996			
	実施方法	□ 委託	又は一	·部委託	;	د.	委託先	① ② ③									
(10) (該当す	(該当するもの					Ξ	とな委託内容		Ι								
	は全部チェック)	□ 補助	⋴全╻台・	出全			交付先	<u>1</u>								0 0 17,598 17,99 0 0 17,598 17,99	
		口 作用 <i>功</i> 」	」亚 ⁻	<u>= 37</u>			人们兀	3						3,438 3,378 3,5 1.80 1.80 1. 14,706 14,220 14,4 18,144 17,598 17,9 0 0 0 0 0 0 18,144 17,598 17,9 0 0 0 18,144 17,598 17,9 18,144 17,598 17,9			
			他				内容		<u> </u>								

2 評	ЩОЭ	指標等	指標項目	======================================		項目			:7年度 6年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			資料調査件数		目標値	<u>i</u>)	単位:件)		40.00	40.00	40.00
		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:件)		89.00	92.00	
	1					達成度	(%)		222.5	230.0	
		目標値	企画展開催数×	8	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		199.46	196.57	
1		の積算 方法			りコスト	一般財派	原(単位:千円)		199.46	196.57	
活動					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	(2)成果指標 (2) (2)成果指標 (1) (2)成果指標				達成度(%)		(%)			0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	貴(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			年間講演会·講座等の 等·出前講座等の	፩・体験学習・史跡ウォーク)受講者数	目標値	<u>(i</u>	単位:人)		5,000.00	5,000.00	5,000.00
		指標 内容			実績値	<u>(i</u>	単位:人)		19,579.00	18,680.00	
	(2)成果指標					達成度	(%)		391.6	373.6	
		目標値	平成15年度講座 1.5	等諸事業の受講者数×	単位当た	総事業費	費(単位:千円)	0.91		0.97	
2		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.91	0.97	
R R H 指			調査研究活動を	公表する年間刊行物数	目標値	<u>i</u>)	単位:冊)		7.00	7.00	7.00
標)成果指標 ②	指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:冊)		8.00	7.00	
						達成度(%)			114.3	100.0	
		目標値	広報誌4冊 図録	t2冊 館報1冊	単位当た	総事業費(単位:		2,219.00		2,583.43	
		の積算 方法					一般財源(単位:千円)		2,219.00	2,583.43	
(3) が困難標	1	活動 内容						目標			
難な場合 場で示す	2	成果 内容						達成 状況			
	•	4	└────────────────────────────────────	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□縮小		□ J3	堯止 □	終期の設定
(4)総	合評	-	評価の説明	企画展等における展示は欠かせない事業であ においても調査研究の とんどが学芸員が講師 けて行う出前講座もか 視点を取り入れた歴史 のサービスを行うことに	がる。また、 が果が反 でとめなりの数の なりの数の なりの数を なりを年	講演会・ 映されて ており、費 D依頼が 間1冊ず	講座・体験学いる。教育普及 のる。教育普及 用対効果は高 ある。刊行物と つ刊行している	習・史跡' 及活動に 高い。また しては、 る。学芸貞	ウォーク等 ついては c、他の施 中学生向 員が市民	多種多様な教育、企画展関連事業設や市民団体等けに学校区ごと	音及活動の実施 業を除いては、ほ からの要請を受 の細かな地域史の

所属名	文化財保護課				
事務事業番号	00979	事業名	調査研究事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
(. .)	妥当性	4.0	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
			②事業の目的と受益者が一致していますか。			
(-)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2)	(20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)						
	l In	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点		
				b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
(4)	(20点)	20				
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	 点	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5)	能性 (20点)	16				
	\— - \III\		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	***************************************		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名 文化財保護課	事務事業番	号 00979				
2 各視点からの評価の点	数では表れない事項(必	必要に応じて言	己載)			
3 事務事業の現状分析						1
(1)本事業の位置付け	主要な政策 □ としての取		□ 部。	として重点的な取組		その他
(2)各視点からの評価結果		持続可能性		妥当性 20 10 5 0 3 亦率性		
(3)現状分析	域に伝わる文化的遺産である。そのため継続れるよう、様々な市民 歴史学習教材の作成	産の価値を見出 的に安定したり 団体や研究者と については、中	し、その情報 : 況で実施する : 協働して調査 学校向け歴史	は専門的知識と技能を伴りを展示や普及事業を通じてることが必要である。今後も を研究活動を行っていくことと教材を教員との連携のもと 構築によって、成果の向上	市民に提信 幅広い市 が望まれる :刊行してし	共する基礎的事業 民のニーズに応えら 。特に小・中学生の ^るところであるが、
4 その他(国・府の動向な	ど、当該事業に関係する	る特記事項)				

事務事業名			収蔵保管事業		
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本安秀

	于加于木VM	1.女																
(1)	事業開始年度	平成4年			改正	博物	物館の登録	先に指	完定表	x 市 σ)教育	5季昌全か	ぶ加わる					
(2)	直近の改正	平成26年			内容	1 17 12	カスロック 豆 東水)LIC]E	1 / 1	. ט נוונון	/ 1	7女只女/	7.VII 4 2.Ø					
(3)	根拠法令等	博物館法(法	建285	号)吹	田市立	博物	宜条例											
		☑ 全部		一部(上乗せ	、横	出し等あり)			なし	(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務あ	5 9)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	:場合は [.]	その説明	明			ı									
(5)	総合計画の体系	章 0	04 個	性がひた	いる学び	バとメ	と 化創造の	まちづ	うくり			節		04		細節	30	0
					区:	分	☑ 内部句	管理			建設	 事業	□ その	 他				
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	事 博物館資料											
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたいの	つか)	博物	館貨	 資料を適正	に保管	·····	· 理す	る。							
		結果 (どのような効!	田ようほこ。	わてのか)	、 地域歴史資料を良好な状態で保管し、市民の知的共有財産として次世代に継承する。													
(7)	事業概要 H28事業別	新たに収集して資料の保存に1回くん蒸	存上、適	i度な環 すう。 	竟を維持	寺でき	きるよう、ま)観点がた虫や	から。 5 黴7	などの)被害	数のくん蒸 ぎが生じな	いよう、収済	遠環境を 終	推持管理す ▼	管している ⁻ るモニタ-	−調査を行し T	ハ、3年
(8)	пzо争未別 予算コード	会計	01	款	10	0	項	05		目		09	大事業	02	中事業	02	小事業	01
			項	目						7年度 年度)					28年度 6年度)		平成29 (2017:	
							予算(-	千円)		決	算(千円)	予算(千円)	決算見	込(千円)	予算(千円)
			事業費		<u> </u>			2,7	754			2,516		1,401		1,003	1	1,723
		人件費	-	i員数 ———	<u>ا</u> ا				.70			1.70		1.70	<u> </u>	1.70		1.70
		, and		額(B) (A)	千	円		-	199	·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				<u> </u>	
	事業費と		等 等 特定財	(A+B) 酒(C)				16,9	953	0 16,183								15,412
(9)	財源の内訳		付化別。	<u>源(U)</u> 国			0								0 0			0
		内 		<u>□</u> 府					0									0
		訳 <u></u>	そ	· の他					0	_					0		0	
			市負担	∄(D)				16,9	953			16,183		15,290		14,433	1	15,412
		<u></u>	地	方債					0			0		0		0		0
		訳		·の他					0			0		0	-	0		0
		<u> </u>		段財源					953			16,183		15,290	-	14,433		15,412
			財源計(C+D)				16,9	953			16,183		15,290		14,433		15,412
		□直接	女夫						1	 関連:	 業者							
							委託先	-	2	12,742,7	Т П							
	r+1++\-	☑ 委託				_	3											
(10)	実施方法 0) /=+ // - 7 / 0					È	とな委託内容	容道	資料	の燻素	蒸、北	又蔵環境維	推持管理モ	ニター調査	S			
(10)	(該当するもの は全部チェック)								1									
	·ひエ HP/ エノノ/	□ 補助	力金・負担	担金			交付先	-	2									
								(3									
		ロその	□ その他					内容										

		1指標等	指標項目		項目			27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			くん蒸庫での資料くん蒸回数	目標値	直)	並位:回)		2.00	2.00	4.00
		指標 内容		実績値	(道	並位:回)		2.00	2.00	
	1				達成度	(%)		100.0	100.0	
		目標値	年間の適度なくん蒸回数	単位当た	総事業費	(単位:千円)	8,091.50		7,446.00	
1		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		8,091.50	7,446.00	
活動指標			収蔵庫くん蒸回数(くん蒸不実施年度は収 蔵環境維持管理モニター調査の回数	目標値	直)	並位:回)		1.00	2.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(首	é位 :回)		1.00	2.00	
	2				達成度	(%)		100.0	100.0	
		目標値 の積算	年間の適度な調査回数	単位当た	総事業費	(単位:千円)		16,183.00	7,446.00	
		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		16,183.00	7,446.00	
			良好な状態で保管すべき収蔵資料の数	目標値	(当	单位∶数)		25,810.00	26,260.00	26,394.00
		指標 内容		実績値	(単	单位∶数)		26,260.00	26,394.00	
	1				達成度	(%)		101.7	100.5	
$\bigcap_{\mathbf{c}}$		目標値 の積算	前年度に良好な状態で保管できた収蔵資料 の数	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.62	0.56	
2 。 成		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.62	0.56	
成果指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
0 3	1	活動 内容					目標			
が 困指 難標										
な場合	2	成果 内容					達成状況			
		4	<u>│</u> 今後の方向性 拡充 √実施計画〉 拡充	 ☑ 継 絹	<u> </u>	□ 縮小	<u> </u>			 終期の設定
			地域の歴史、文化に関	する諸資	料を次世	代に伝えるべ	く博物館	<u> </u> に収集し、		
(4)総	合評		で地域文化財を保護する。 評価の説明							

所属	名 文化財保護課				
事務事業	養番号 00980	事業名	収蔵保管事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
111111	100 100 1111	ит ризк	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	—: .i.e lei		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u>.</u>	7115
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	718
	╧╌╌		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	
(2)	有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		711
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点
			①単位当たりコストは適正ですか。		711
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	<u></u>	
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	
(3)	30年任 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	 点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	Ē	
					点
	公平性				点
(4)	(20点)	0		<u>i</u>	
			 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	ii	
<i>(</i> – <i>)</i>	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。	ii	
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	00980			
2 各視点	からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に	応じて記載)	_		
3 事務事	業の現状分析					
	の位置付け	主要な政策課題	□ 剖	3として重点的な取組 		その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 有 効性 効 率性		
(3)現状分	·析	収蔵保管事業は博物館の基えていくために必要である。 くん蒸を実施しない年度は資 維持管理モニター調査を行い 宗教芸術家の第一人者であ スペースを確保するための場	なお、収蔵庫全体のく 資料に悪影響をもたらい、博物館館内を資料 い、博物面村公朝氏の	ん蒸は経費と環境面への配す害虫が生息する環境を館 よの保管に適切な環境となる 資料、作品を吹田市のかけ	記慮から3年 内に作り出 よう心掛け	に1度とし、収蔵庫 さないように、環境 ている。また、現代
4 その他	1(国・府の動向など、	当該事業に関係する特証	己事項)			

事務事業名			公開展示事業	公開展示事業						
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本安秀					

(1)	事業開始年度	平成4年		i	改正	捕椒	物館の登録先	一七字	拟古	の数	李禾昌△.	が加わる					
(2)	直近の改正	平成26年			内容	1寸1%	が貼り豆稣儿	一田足	נוינום.	の叙	月女貝工	いいはくいい					
(3)	根拠法令等	博物館法(法	律285	号)吹田	市立市	専物1	館条例										
		☑ 全部		一部(上乗せ	、横	出し等あり)			なし	(国・府制	削度もしくは	法令等で	市が実施	する義務な	あり)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたり	場合は-	その説												
(5)	総合計画の体系	章 0	4 個性	生がひた	いる学び	ゾとフ	文化創造のま	ちづく	J		節		04		細節	30)
		•			区	区分 口 内部管理				□ 建設事業 ☑ その他							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)			範囲	囲等 不特定多数の市民											
(0)	1 #7	目標 (どういう状態)	こしたいの	か)		歴史資料を中心とする地域の文化に関する諸資料の調査成果をふまえ、市民の主体的な参加を得な 資料を公開展示し、その情報を発信し、市民の生涯学習活動を支援する。									ながら、		
	ı	結果 (どのような効!	果が得られ	こるのか	地域	えのブ	の文化に関する情報を広く発信し、その発見、見直し、創造につなげ、市民生活を豊かにする。										
(7)	事業概要	特別展は春による展示実	季に「田屋 行委員 特別企画 常設化に	園都市 会と協作 回を博物 よってニ	千里レ動してで 動してで 動館ボラ	山」利 市民: ランラ ーサ:	上陵の窯業生涯 火季に「古代の 参画展示を実 ティアと協働で ルミュージア』)港か 施した 実施し	?祭り :。また た。1	易か ′ た、学 企 画原	? 」を実施し や校教育と 展は「金子	った。夏季月の連携を目 雪操」を実	展示では「 的に小学 施し、同会	まもる自然 生を対象 対中に「	然・つくる環 とするむか さわる月間	境」としてな しのくらしる 」を同時開	公募市民 上学校を 催し、さ
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	0	項	05	ı	1	09	大事業	02	中事業	03	小事業	01
	項目						·	平成2 (2015			•			8年度 6年度)	•	平成29 (2017 ²	
						予算(千円)			;	決算	(千円)	予算(千円)	決算見:	込(千円)	予算(-	千円)
	1		(A)		12			· ·			10,857		9,181		10,473		
	i	人件費		員数		-		1.90					1.90				
	1	4/3		(B)	千	H		15,869			15,275		15,523 26,380		15,010		15,299
	事業費と		事業費(特定財源					27,955 1,500	,						24,191		25,772 1,090
(9)	財源の内訳			玉 国				1,300			1,923		1,039		1,167		1,090
		内		<u></u> 存				0							0		0
		訳		<u>:-</u> の他				1,500							1,167		1,090
		L	市負担	(D)			2	26,455			24,043		25,341		23,024		24,682
		<u></u>	地	方債				0			0		0		0		0
		内 訳	そ(の他				1,091			0		1,039		0		0
		財源				25,364			24,043		24,302		23,024		24,682		
		·	才源計(C	(+D)			2	27,955			25,966		26,380		24,191		25,772
		□直接	美美施		1				+-		中午주무						
							委託先	(1) (2)	_	_	*実行委員 ンティア	云					
		☑ 委託	E又は一	部委託			安心儿	3	関連								
, .	実施方法				ŀ	Ì	な委託内容				' 'の協働な						
(10)	(該当するもの							1									
	は全部チェック)	□ 補助	か金・負担	金			交付先	2									
	ı							3									
	ı	□ その他		_		_	内容										

2 評	ДД - 7) 括係る	指標項目	1		項目			7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			年間特別展、企画	画展、特別企画展開催数	目標値	1)	単位:回)		5.00	5.	.00	5.00	
		指標 内容			実績値	1)	単位:回)		6.00	6.	.00		
	1					達成度	(%)		120.0	120	0.0		
<u> </u>		目標値	平成15年度特別 開催数+1回	展、企画展、特別企画原	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		4,327.67	4,117	.33		
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		4,007.17	3,922	.83		
活動指					目標値	(単位:)		0.00	0.	.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.	.00		
	2					達成度	(%)		0.0	1	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.	.00		
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.	.00		
			年間入館者数		目標値	1)	単位:人)		18,000.00	18,000	.00	18,000.00	
		指標 内容			実績値	1)	単位:人)	;	34,012.00	31,663	.00		
	1		T-# 1 M	and the second		達成度	(%)		189.0	17	5.9		
2		目標値 の積算	平成15年度入館	(者数×1.5	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.76	0.	.78		
) 成		の積算 方法 指標				りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.71	0.	.74	
果 指		1 1-1=			目標値	(単位:)		0.00	0.	.00	0.00	
標		内容			実績値	(単位:)		0.00	0.	.00		
	2					達成度	(%)		0.0		0.0		
		目標値 の積算			単位当たりコスト	総事業費	慢(単位:千円)		0.00		.00		
		方法			/-/	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.	.00		
の の 3 が 困指	1	活動 内容						目標					
難な場合	2	成果 内容						達成 状況					
		4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	ŧ	□縮小	`	_ ,	廃止	□ #	冬期の設定	
(4)総	合評			歴史資料を中心とすから博物館業務の基 中を主題とする展示市民団体の参画を取 立、学校教育、市民、	本として堅 テーマや展 り入れ、常	持しつつ 示の予算 設化にし	、わかりやす 見模などの たさわる展示	く、魅力的 空組みを は、ユニ	りな展示へ 維持し、ゴ バーサル	への改善を続け 画展のテーマ ミュージアムの	ナてし アに。 り機i	いく。地域の歴 kっては市民や 能も強化しつ	

所属名	文化財保護課				
事務事業番号		事業名	公開展示事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
	120/111		①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
	妥当性 (20点)	20	②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		AN.
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)					7111
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			Lii		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			・ ①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標股定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	有効性	20	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		公平性 (20点) 20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
, τ/	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		能性 16	a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	持続可 能性 (20点)		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(0)			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	00981
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

企画展等で資料を公開展示することで、地域の文化に関する情報を積極的に発信している。また、展示テーマに応じて市民参画の手法を取り入れ、市民のニーズ、市民の博物館活動への積極的な参加をめざしている。こうした市民参画と展示品の情報を視覚以外からもみつける「さわる展示」の実施による博物館利用に関するマイノリティーへの対応は、新たな利用者層を創出し、効率性にもつながっている。しかし、展示のテーマによって観覧者の数は大きく変わる。年間入館者数は、企画展によって大きく変動するものであり、安定的に入館者数を維持、あるいは増加させることには難しさがある。一層広報の充実をはかり、展示テーマについては、市民の興味や関心が何にあるのかを把握していく。今後は現代日本を代表する西村公朝氏の作品を受け入れ、博物館を特徴づけるコレクションとして活かし、展示の充実を図っていきたい。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 ② としての取組	□ 部として重点的な取組	口 その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	要当性 20 15 10 5 0 0 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)							